

21世紀の今のワールドスタンダードな咬合理論のガイドラインと臨床応用を簡潔に整理した待望のテキスト！

オクルージョン& クリニカル プラクティス

エビデンスに基づいたアプローチ

OCCLUSION AND CLINICAL PRACTICE AN EVIDENCE-BASED APPROACH

Iven Klineberg · Rob Jagger／編

菅野太郎／監訳 林 栄成・猪飼紘代・中村圭祐・菅野太郎／訳

■B5判・196頁・2色刷 ■定価6,300円（本体6,000円+税5%）ISBN978-4-263-44246-3

21世紀に入り、歯科医はインプラントという大きな治療法を手に入れつつある。それと同時に、粘膜支持、歯根膜支持、さらに顎骨支持という根本的に異なる補綴物に対して1つの口腔内にバランスと安定を確立しなければならなくなつた。つまり、咬合に対してさらなる考慮すべき項目が増えたことから、咬合理論のアップデートは歯科医にとって必須であろう。このような背景から、私自身、今現在の咬合理論を整理するための基礎となるテキストを切望していた。

（監訳者序文より抜粋）

- ヨーロッパとオセアニアの専門家の執筆による、開業臨床医や研修歯科医向けに構成した咬合の最新テキスト。エビデンスを踏まえたワールドスタンダードな咬合理論のガイドラインと臨床応用が簡潔にまとめられた、読みやすくわかりやすい、コンパクトな一冊。
- 最新の咬合に関するエビデンスが凝縮されており、「咬合に関して知られていることと知らないことの境界を示し、また患者にとって必要なものと必要でないものを区別するための最新の判断基準」を提示するとともに、インプラント修復に関する咬合の臨床的マネジメントの実践的なガイドラインも提示。
- 各章には要約、キーポイント、文献を備え、臨床家にとってわかりづらい表現・専門用語には「訳者註」をつけるなど、より読みやすい構成としている。

主な目次 C O N T E N T S

●第1部 咬合の生物学的考察

第1章 上下歯列の関係 歯の接触と下顎位／咬合関係／限界運動／アンテリアガイダンス、ポステリアガイダンス／犬歯誘導／平衡側の歯の接触／干涉／短縮歯列(SDA)

第2章 顎運動とその制御 咀嚼筋：顎運動のための運動単位／顎運動の発生と制御における中枢神経系(CNS)の構成要素／顎運動の分類／随意運動／反射運動／律動運動／基本的な下顎運動／顎運動の表現方法／咀嚼における顎運動／顆頭と関節円板の動き

第3章 成長と発育 正常な骨格の発育／相対的比率の変化／歯の正常発育／不正咬合の原因

第4章 顎関節の解剖学と病態生理学 顎関節の解剖学／顆頭運動／関節の負荷／関節のリモデリング／変形性関節症

●第2部 咬合の分析・評価

第5章 咬合の臨床分析 臨床的咬合評価／異常機能による歯の咬耗／誘発試験

第6章 咬合器とスタディモデルの評価 咬合器およびフェイスボウシステム／咬合探得／咬合器の選択／咬合の評価および模型分析

●第3部 咬合と臨床

第7章 顎関節障害 関節円板転位(disc interference disorders)／外傷性顎関節障害／骨関節炎／骨関節症／リウマチ性関節炎／その他の顎関節障害

第8章 咀嚼筋障害 咀嚼筋障害の疫学と病因論／咀嚼筋の生理学と機能解剖学／咀嚼筋痛／既往歴の問診と咀嚼筋の診査／咀嚼筋障害の分類／咀嚼筋痛および咀嚼筋障害の治療

第9章 咬合と歯周組織の健康 健康な歯周組織と咬合力／歯の動搖／咬合力の種類／咬合性外傷／咬合性外傷とインプラント／咬合による歯肉の外傷／実践的な臨床的結論と指針

第10章 咬合と矯正

Part 1：小児と若年者 適切な咬合：矯正的エビデンスの理念／不正咬合／矯正治療で獲得される咬合

Part 2：成人 成人の咬合／成人における矯正治療／固定装置と外科矯正の双方を用いた治療後の咬合／矯正治療における長期的にみた咬合：後戻りと保定

第11章 咬合と固定性補綴治療 歯の接触／機能を支える形態／歯の咬耗／歯の健全性の維持／側方運動時の歯の誘導／臨床的予後研究により支持されるエビデンス／利益と損失／治療に必要な下顎基準位／器具の役割／咬合平面の位置づけ／長期のメインテナンス

第12章 咬合と可撤性補綴治療 部分床義歯／全部床義歯

第13章 咬合とインプラント修復 文献に基づくエビデンス／臨床的側面／咬合設計

第14章 オクルーザルスプリントと咬合の管理 文献レビュー／スプリントと筋痛および関節痛／スプリントの作製

第15章 咬合調整の役割 臨床的側面

医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL.03-5395-7630 FAX.03-5395-7633 <http://www.ishiyaku.co.jp/>